



# 東北支部の歴史

## 日本応用地質学会 東北支部



### はじめに

私たちが生活の礎となっている地盤や周辺を取り巻く環境は、46億年の地球の歴史とともに変化し、形作られてきました。日本応用地質学会会員は、遠い過去から将来に向かう変化の過程として現在の現象を捉え、私たちの社会が直面する、あるいは将来立ちちはだかるであろうさまざまな地質、地盤、環境の課題に答えて行く活動をしています。東北支部は、東北6県に居住、勤務する約200人の学会員それぞれの活動を支援し、共同の支部活動を通じて親睦と研鑽と社会貢献を3本柱として活動しております。そして、専門技術、学術を広く一般の方々にも分かり易く伝える普及活動に力を注いでいます。なお、東北支部の活動は、当学会の趣旨にご理解を頂いた約50の企業、団体から賛助、ご支援をいただいています。

東北支部 支部長 太田 保

### 東北支部の沿革

昭和60年(1985年)8月31日に「東北ダム地質検討会」という任意団体としてスタート。その後、昭和63年より建設コンサルタント協会ダム地質部会下部機関として活動。おもにダムに地質調査に突出した活動を行い、屋には焼き肉パーティーをするなど懇親を深めるなど家庭的な活動を主としていました。平成3年(1991年)には、日本応用地質学会東北支部を発足させ、以後本格的な学会活動を開始しました。その後、平成13年には東北支部の設立10周年を迎え、記念行事としてオーストラリア巡検(OZ-2001)を行いました。平成15年~17年にかけては、市民への学会のアピール活動として近年発生が懸念されている「宮城県沖地震」に絡めたシンポジウムを開催し、好評を得ました。来年には、東北での3回目となる全国大会が山形で開催されます。

| 年度                 | 日時         | 内容   | 概要   |
|--------------------|------------|--|--|
| 昭和60年度             | 昭和60年8月31日 | 「東北ダム地質検討会」という任意団体としてスタートを切る                                   |  |
| 昭和61年度             |            | 講演会、室内技術検討会と忘年会を兼ねた室内検討会                                       |  |
| 昭和62年度             |            | 北村信先生の講演と検討会、山形県白川ダム見学会、セツダム見学会の合計3回の活動                        |  |
| 昭和63年度             |            | 春の技術発表会、秋保地区築山ダム現場見学会、宮床ダム見学会の合計3回の活動                          |  |
| 平成元年度              |            | 春の技術発表会、宮城県花山ダム見学会、寒河江ダム見学会                                    |  |
| 平成2年度              |            | 宮床ダム(掘削最盛期)と月山ダム(建設最盛期)見学、建設中の長大橋建設現場の見学、講演会「シルクロードと古代ダム技術の交流」 |  |
| 平成3年度<br>(1991年度)  | 5月18日      | 設立総会 支部発足  | 特別講演「開発と自然保護に関連して」北松治男氏<br>支部の目指す基本方針を述べた。   |
|                    | 9月26日      | 講習会  | 「防災地質の現状と展望」   |
|                    | 10月16日     | 見学会  | 鳴子ダム、奥平トンネル  |
|                    | 2月14日      | 第1回研究発表会   | 論文10編  |
| 平成4年度<br>(1992年度)  | 5月19日      | 第2回総会  |  |
|                    | 7月1日       | 見学会  | 月山ダム、最上川中流堤、立谷沢新橋  |
|                    | 9月18日      | 講習会  | ①「深部地下掘削に伴う岩石の異常破壊-山ハネ現象-」<br>②「岩と土のための基礎力学」   |
|                    | 2月12日      | 第2回研究発表会   | 論文10編、特別講演2題 ①「高レベル放射性廃棄物地層処分研究の現状と桑原氏」<br>②「岩盤斜面の変形と破壊」   |
| 平成5年度<br>(1993年度)  | 5月21日      | 第3回総会  |  |
|                    | 7月16日      | 見学会  | 特別講演「東北地方の農業ダム地質と岩盤物性-特に軟岩地質-」高橋誠一氏  |
|                    | 9月1日       | 講習会  | 三春ダム、常盤道小野工事区<br>岩盤分類、本部協賛   |
|                    | 2月10日      | 第3回研究発表会   | 論文9編と特別講演 ①「今後の岩盤透流調査の方向と現場対話型解析」<br>②「岩盤の開口割れ目とその取扱」  |
| 平成6年度<br>(1994年度)  | 5月20日      | 第4回総会  | 特別講演「ダム設計と地質調査」大藤謙彦氏   |
|                    | 7月15日      | 見学会  | 鬼首地熱発電所、上沢ダム、鬼首カルデラ  |
|                    | 9月2日       | 講習会  | 「地形(山地斜面、地すべり) ①「山地斜面の地形発達史的見方とその応用の可能性」<br>②「微地形分類による地すべり運動特性の把握」   |
|                    | 2月3日       | 第4回研究発表会   | 論文11編および特別講演<br>特別講演 ①「新築における地質調査」<br>②「1993年北海道南西沖地震による奥尻島の崩壊」  |
| 平成7年度<br>(1995年度)  | 5月19日      | 第5回総会  |  |
|                    | 10月4日      | 平成7年度研究発表会<br>全国大会   | 特別講演「津波研究の現状と防災」、「活断層による地震評価の方法-兵庫県南部地震の教訓-」<br>10月4日~5日の2日間開催   |
|                    | 10月6日      | 見学会  | 寒河江ダム、月山ダム   |
| 平成8年度<br>(1996年度)  | 4月26日      | 第6回総会  | 特別講演「地質技術者はいかにダム建設に貢献してきたか」菅原 健氏   |
|                    | 6月28日      | 見学会  | 早池峰ダム、山王海ダム  |
|                    | 10月25日     | 講習会  | 「兵庫県南部地震-地質地盤と災害-報告書」をテキスト   |
| 平成9年度<br>(1997年度)  | 2月28日      | 第5回研究発表会   | 論文9編+特別講演1題「常時微動の工学的利用」  |
|                    | 5月23日      | 第7回総会・特別講演   | 特別講演「土石流の特徴と防止対策」今村達平氏   |
|                    | 9月19日      | 見学会  | 掘上ダム、成沢地すべり、常盤道四ツ倉工区(9月19日~20日)  |
|                    | 11月7日      | ミニシンポジウム   | 「長町府前線と仙台の防災を考える」  |
| 平成10年度<br>(1998年度) | 2月13日      | 第6回研究発表会   | 論文9編、特別講演「地盤工学-建設から防災、環境へのトレンド-」   |
|                    | 5月29日      | 第8回総会・特別講演会  | 特別講演「地熱地帯の地下構造」佐藤 浩氏   |
|                    | 9月11日      | 見学会  | 森吉山ダム、澁川地すべり、澁川地熱発電所(9月11日~12日)  |
|                    | 11月20日     | ミニシンポジウム   | 「応用地質学」の本部作成テキスト使用   |
| 平成11年度<br>(1999年度) | 2月10日      | 研究発表会  | 論文8編および特別講演「情報工学と地質学との融合の試み-地質情報の可視化-」   |
|                    | 5月14日      | H11年度総会・特別講演会  | 特別講演「割れ目と崩壊」田中芳則氏  |
|                    | 9月3日       | 見学会  | 仙人トンネル、大船渡博物館、産生ダム(9月3日~4日)  |
|                    | 11月5日      | ミニシンポジウム   | 「斜面地質学」テキストを使用   |
| 平成12年度<br>(2000年度) | 1月28日      | 研究発表会  | 論文11編+特別講演 ①「地質・水文情報の総合化による広域水環境シミュレーション」<br>②「台湾集集地震調査報告書」  |
|                    | 5月23日      | 第7回総会・特別講演   | 特別講演「土石流の特徴と防止対策」今村達平氏   |
|                    | 9月8日       | 見学会  | R49本郷岩、滝坂地すべり、柳津山麓発電所、新宮川ダム<br>9月8日~9日の2日間   |
|                    | 1月26日      | 研究発表会  | 論文17編および特別講演「地質環境とアセスメント」<br>第9回IAEG(ネパールカトマンズ)に参加   |
| 平成13年度<br>(2001年度) | 5月11日      | H13年度総会・シンポジウム   | 「日本の旧石器遺跡に地質学は何を貢献できるか」<br>(旧石器遺跡をつつ問題)  |
|                    | 5月19日      | 10周年記念行事   | 5月19日~27日、「オーストラリア地質研修旅行」バス、アブロード、ジノー  |
|                    | 10月31日     | 研究発表会(全国大会)  | 10月31日~11月1日、郡山(日本大学工学部にて)発表90編<br>特別講演「御嶽山の最近の火山活動と噴火予知の現状」   |
|                    | 11月2日      | 見学会  | 磐梯山、楯倉代湖周辺<br>※ この年、鬼首地熱発電所調査団の活動を行う。ホームページの運用開始   |
| 平成14年度<br>(2002年度) | 5月31日      | 総会 特別講演  | 特別講演「私と応用地質(広い視野、若々しい気持ち)」大島洋志氏  |
|                    | 9月20日      | 見学会  | 長井ダム   |
|                    | 11月15日     | シンポジウム   | 「地質を知り未来に生かす」(後援:国土交通省、NHK仙台放送局)   |
|                    | 1月24日      | 研究発表会  | 論文10編および特別講演「仙台地域の地質環境と地震防災」   |
| 平成15年度<br>(2003年度) | 5月23日      | 総会・特別講演・研究発表会  | 論文8編および特別講演「活断層研究の現状と展望」井上大策氏  |
|                    | 9月19日      | 見学会  | 宮城県栗原町地下すべり(9月19日~20日)鬼首地熱現象   |
|                    | 11月14日     | 地震防災シンポジウム   | 「迫りくる宮城県沖地震に備える」今、あなたがたがどこは大丈夫? -  |
|                    | 5月21日      | 総会・討論会・研究発表会   | 論文数5編、討論会「若手技術者は地震災害でどう対応したか」、<br>特別講演「災害報道のあり方-初動と課題-」森雅一郎氏<br>船沢ダム(ダムサイト周辺)及び東山町・川崎町(防災マップ関連)<br>9月10日~9月11日の2日間 |
| 平成16年度<br>(2004年度) | 9月10日      | 見学会  |  |
|                    | 11月12日     | 地震防災シンポジウム   | 「迫りくる宮城県沖地震に備える(その2)-ここはどれだけ揺れる? 地域防災に役立つ地盤調査、地質図の解説-」<br>第4回アジアシンポジウム(中国香港)へ参加                                    |
|                    | 5月20日      | 総会・特別講演  | 特別講演「摩擦帯で自己制御された摩擦-摩擦帯と地震学的な見方-」大槻憲四郎氏<br>討論会「これからの応用地質学の役割」   |
|                    | 9月9日       | 研究発表会  | 全地連フォーラムと合同で実施、論文10編   |
| 平成17年度<br>(2005年度) | 9月10日      | 現場見学会  | (女川発電所~2003年宮城県北部の地震石巻市岩盤崩落箇所~福島湾内会場運搬艇にて仁王島(補強工事)   |
|                    | 11月11日     | 地震防災シンポジウム   | 「迫りくる宮城県沖地震に備える(その3)-気象に「揺れ」をマップDIG-」  |
|                    | 5月19日      | 総会・特別講演  | 特別講演「呼吸する岩盤-地盤-簡易計測のすすめ」田野久貴氏<br>討論会「若手からベテラン、ベテランから若手へ」   |
|                    | 7月7日       | 研究発表会  | 論文数6編および特別講演<br>①「ピトー管の進め」<br>②「掘削に伴う環境汚染の調査対策の考え方」  |
| 平成18年度<br>(2006年度) | 10月13日     | 現場見学会  | 玉川・八幡平方面(宿泊:湯瀨温泉)ダムと酸性処理施設の見学<br>第10回IAEG(イギリスノッティンガム)へ参加  |
|                    | 5月18日      | 総会・特別講演  | 論文6編、特別講演「東北の土と縄文文化」山野井龍氏<br>討論会「宮城県沖地震に備えるシンポジウムフォローアップ」  |
|                    | 7月20日      | 研究発表会  | 論文数7編、特別講演「中山間地における地震斜面災害-2004年新潟中越地震、2005年パキスタン北部地震の例-」   |
|                    | 9月28日      | 現場見学会  | 新第三系地層層序の標準模式地の男湯半島地質遺跡と講義   |
| 平成19年度<br>(2007年度) | 11月16日     | 講習会  | 「応用地質学講習会」<br>(注)日本地すべり学会と共催、応用地質セミナーのテキスト使用、<br>第5回 アジアシンポジウム(ソウル)に参加   |
|                    | 5月23日      | 総会・特別講演  | 特別講演「気候変動の応用地質の役割」菅原 健氏  |
|                    | 7月18日      | 研究発表会  | 論文数10編、特別講演「南部北上古陸の形成とその発展-南部北上帯の地質構造発達史」、<br>研究発表会(地形・地質 ハザード関連)6編、岩手・宮城内陸地震関連4編                                  |
|                    | 9月13日      | 災害調査派遣   | 平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震合同調査団による現地調査  |
| 平成20年度<br>(2008年度) | 9月26日      | 現地研修会  | 宮城県気仙沼~岩手県大船渡の中・古生層  |
|                    | 10月30日     | 本部50周年・全国大会  | 「地質防災シンポジウム」関連のポスター発表と資料集CD配布<br>・災害調査団の調査報告(ポスター)   |
|                    | 10月22日     | 研究発表会(全国大会)  | 山形にて開催予定   |
|                    |            |  |  |

### 東北支部発足準備期間

**設立総会 東北支部発足**



支部設立総会での支部長挨拶 (故 北村信 先生)

本部作成テキストによる講習会を毎年開催

日本応用地質学会 全国大会を仙台で開催 (東北で初めての開催)



見学会時の集合写真 (山形県寒河江ダムにて)

1泊2日の見学会開始

支部長: 田野久貴  
副支部長: 大村一夫

旧石器遺跡をつつ問題に関するシンポジウムを開催

平成13年度 支部設立10周年記念「OZ2001オーストラリア地質研修旅行」

日本応用地質学会 全国大会を郡山で開催

この年、ホームページ運用開始

支部長: 田野久貴  
副支部長: 太田 保

H15年 5月26日 三陸南地震  
7月26日 宮城県北部地震 が相次いで発生

「迫りくる宮城県沖地震に備える」シンポジウム 第1回目 開催

「迫りくる宮城県沖地震に備える」シンポジウム 2回目 開催

「迫りくる宮城県沖地震に備える」シンポジウム 3回目の開催揺れやすさマップDIG

第6回IAEGアジアシンポジウム (韓国ソウル)での講演

地震防災シンポジウムをうけ、一般市民への講演会を行う。

支部長: 太田 保  
副支部長: 橋本修一

H20年6月14日 岩手・宮城内陸地震 発生

日本応用地質学会 全国大会を山形で開催予定 鋭意準備中、是非山形へ